

KANSAI ウォーク 2014

第2回 奈良・大和郡山エリア

豊臣秀吉の弟秀長の居城
郡山城と城下町をめぐる

コースマップ

スペシャルコース (約18 km)

スタート ▶ 1. 郡山城跡 多門櫓前広場 ▶ 2. 大職冠鎌足神社 ▶ 3. 大和民俗公園 ▶ 4. 矢田坐久志玉比古神社 ▶ 5. 矢田寺 ▶ 6. 永慶寺 ▶ 7. 大納言塚 ▶ 8. 郡山金魚資料館 ▶ 9. 洞泉寺 ▶ 10. 源九郎稲荷神社 ▶ 11. 外堀緑地 ▶ 12. 春岳院 ▶ 13. 柳澤神社 ▶ 14. 柳沢文庫 ▶ ゴール / 1. 郡山城跡 多門櫓前広場

ファミリーコース (約8km)

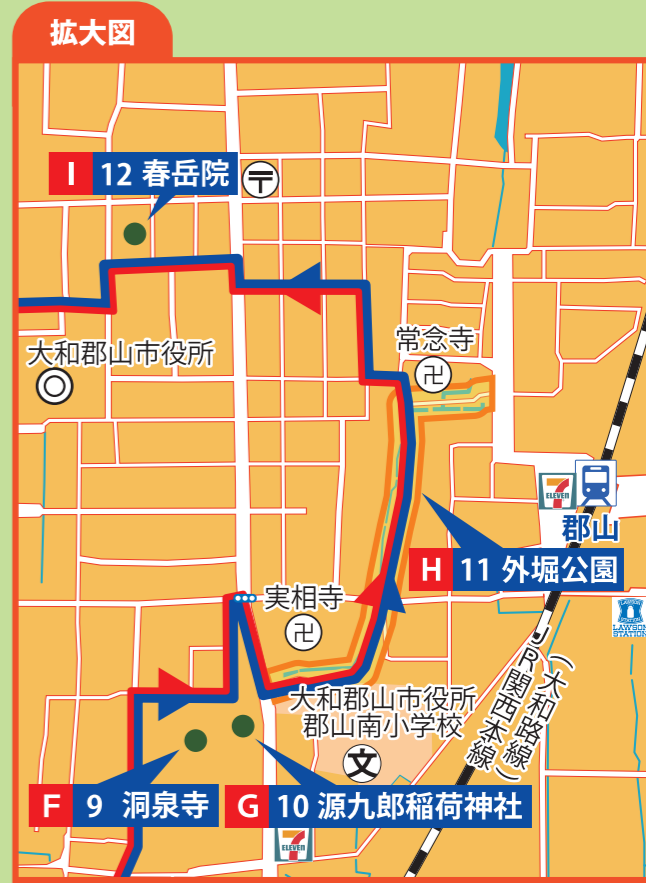
スタート ▶ A. 郡山城跡 多門櫓前広場 ▶ B. 大職冠鎌足神社 ▶ C. 永慶寺 ▶ D. 大納言塚 ▶ E. 郡山金魚資料館 ▶ F. 洞泉寺 ▶ G. 源九郎稲荷神社 ▶ H. 外堀緑地 ▶ I. 春岳院 ▶ J. 柳澤神社 ▶ K. 柳沢文庫 ▶ ゴール / A. 郡山城跡 多門櫓前広場

→ スペシャルコース → ファミリーコース

両コースとも、午後1時から午後4時までにゴールしてください。
KANSAIウォークパスポートにチェックを受けてください。

大会の途中で棄権したり、救護を要するときは…

+ **?** 大会本部 (Central Site) ・救護 (First Aid)
TEL/ 090-4286-1246
※この電話は、大会当日のみ有効です。



主催 / 産経新聞社 特別協賛 /



後援 / 奈良県、大和郡山市、大和郡山市観光協会、大和郡山市教育委員会、近畿日本鉄道 (株) 大坂の陣 400 年天下一祭 参加事業

協力 / 奈良県ウォーキング協会、スーパースポーツゼビオ



奈良大和郡山エリア

豊臣秀吉の弟秀長の居城郡山城と城下町をめぐる

A. 1. 郡山城



天正8年(1580)に筒井順慶(じゅんけい)にはじまる。豊臣秀吉の弟である大納言秀長(豊臣秀長)は、筒井家の後を引き継ぎ、天正13年(1585)に郡山城に入城。城下町も大いに発展した。

慶長5年(1600)関ヶ原合戦後、順慶の養子定慶(じょうけい)が筒井家を相続。大坂夏の陣では徳川方に味方した為、豊臣秀頼軍に攻め込まれ、定慶は城を棄てる(郡山城の戦い)。その後、徳川家の元、城は再建され、明治維新を迎える。城内には当時の建築物は現存していないが、追手門や多聞櫓などが復元されている。

B. 2. 大職冠鎌足神社



豊臣秀長が郡山城の鎮守として、高野山に祈願したと伝わる。大職冠鎌足神社は、元々、大職冠鎌足(大職冠)が祀られていた。以後、豊臣秀長が郡山城の鎮守として、高野山に祈願したと伝わる。大職冠鎌足神社は、元々、大職冠鎌足(大職冠)が祀られていた。以後、豊臣秀長が郡山城の鎮守として、高野山に祈願したと伝わる。

祭神は藤原鎌足公(大職冠)

C. 3. 大和民俗公園



城下町として独特の歴史風土を残す大和郡山市の東部に、園内には矢野田置し・無形文化財を収集した民家9棟が復元・移築されている。

4. 矢田坐久志玉比古神社



地名「矢田」発祥の地。本殿は西末側にある。本殿の西側に建てられている。本殿の西側に建てられている。本殿の西側に建てられている。

日命(くしたまにぎはやひのみこと)・しきやひめのみこと)の夫婦神が祭神。

5. 矢田寺



高野山真言宗別格本山「金剛山寺」の別当寺。矢田寺は、高野山真言宗別格本山「金剛山寺」の別当寺。矢田寺は、高野山真言宗別格本山「金剛山寺」の別当寺。

10,000株のアジサイの花が咲き乱れ、もいわれる。

C. 6. 永慶寺



柳澤家の菩提寺として柳澤吉保(よしやす)が甲府に開いた。永慶寺は、柳澤家の菩提寺として柳澤吉保(よしやす)が甲府に開いた。

D. 7. 大納言塚



豊臣秀吉の異父兄弟、豊臣秀長の墓所。天正19年(1591)、郡山城で没した秀長はここに葬られた。安永6年(1777)、春岳院の僧、栄隆(えいりゅう)や訓祥(くんしょう)が郡山町中と協力して外回りの土塀塔を建立した。高さ2メートルで

輪の表面には戒名が刻まれている。

E. 8. 郡山金魚資料館



大和郡山における金魚養殖の由来は、享保9年(1724)に柳澤吉里侯が甲斐の国(山梨県)から郡山へ入部した時に始まる。資料館は金魚を手掛ける嶋田正治が昭和57年(1982)に開館。日本で最初に出版された金魚の飼育方法の図書や、初めて金魚のことを

書いた本など、金魚に関する図書や錦絵などが展示されている。

F. 9. 洞泉寺



天正13年(1585)建立。御本尊は鎌倉時代の大仏師・快慶の作と伝わる「木造阿彌陀如来及両脇侍立像」(重要文化財)である。門前の洞泉寺町はかつての花街。

G. 10. 源九郎稻荷神社



源義経が兄頼朝の追手を逃れた時、白狐が化けて静けさを送り届けたという由縁がある。豊臣秀長が城主となり、僧侶の夢枕に白狐が老翁と姿を変えて守護神と告げたという。伏見稲荷、豊川稲荷と並び、日本三大稲荷の一つに数えられる。

荷、豊川稲荷と並び、日本三大稲荷の一つに数えられる。

H. 11. 外堀公園



外堀は、文禄4年(1595)、豊臣秀長の後に入部した増田長盛が築いたもので、総延長は約5.5kmに及んだという。現在は堀路や白壁の築地、公園として整備されている。

I. 12. 春岳院



豊臣秀長の菩提寺。開基はつきり時代、鎌倉時代の石造り塔(七重)が現存している。郡山城主となった豊臣秀長の画像や、秀長の政策に活動した「箱本制度」の御朱印箱やその古文書が保存されている。

J. 13. 柳澤神社



郡山城本丸跡にあり、祭神は5代将軍徳川綱吉(よしのぶ)を祀る。子供より郡山に国替は15万石の大名家として、六代140年、明治維新まで続いた。

K. 14. 柳沢文庫



柳澤藩最後の藩主柳澤保申(やすのぶ)のあとを継いだ保恵(やすとし)が、明治35年(1902)に同家邸宅の一部を開放して、所蔵する書物などを公開したが、昭和35年(1960)、柳澤保承(やすつぐ)と郷土有志により(公)財団法人郡山城

史跡・柳沢文庫保存会が設立され、歴代藩主の書画や古文書の展示、地方史の図書館として公開している。※当日は休館日の為、館内には入れません。



中学生以下のお子様対象のクイズです。

クイズに答えて記念品をもらおう!

こどもクイズ

問題

郡山城の城主は豊臣秀吉である

○か×か?

答え